県の旗

昭和27年5月5日制定

県の獣
ニホンカワウソ

昭和39年5月10日制定

県の鳥
こまどり

昭和45年5月10日制定

県の木
まつ

昭和41年9月9日制定

県の花
みかんの花

昭和27年5月5日制定

県の魚
マダイ

平成5年6月15日制定

本館2階県民総合相談プラザで記念スタンプが押せます。

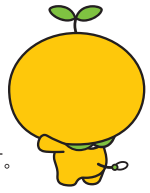
〈県庁見学記念スタンプ〉

愛媛県 企画振興部 政策企画局 広報広聴課 令和8年度

〒790-8570 松山市一番町四丁目4-2 TEL 089(941)2111

県のホームページ https://www.pref.ehime.jp/

この冊子の内容は県のホームページの［キッズページ］で見ることができます。



えまひじめめ

わたしたちの愛媛県

2026

名前 みきゃん　出身地 愛媛県　仕事 愛媛県のPR

誕生日 2011年11月11日(ワンワンワンワンの日)

性格 明るくて好奇心旺盛　楽天的でくよくよしない

チャームポイント ハートの形の鼻とみかんの花のしっぽ

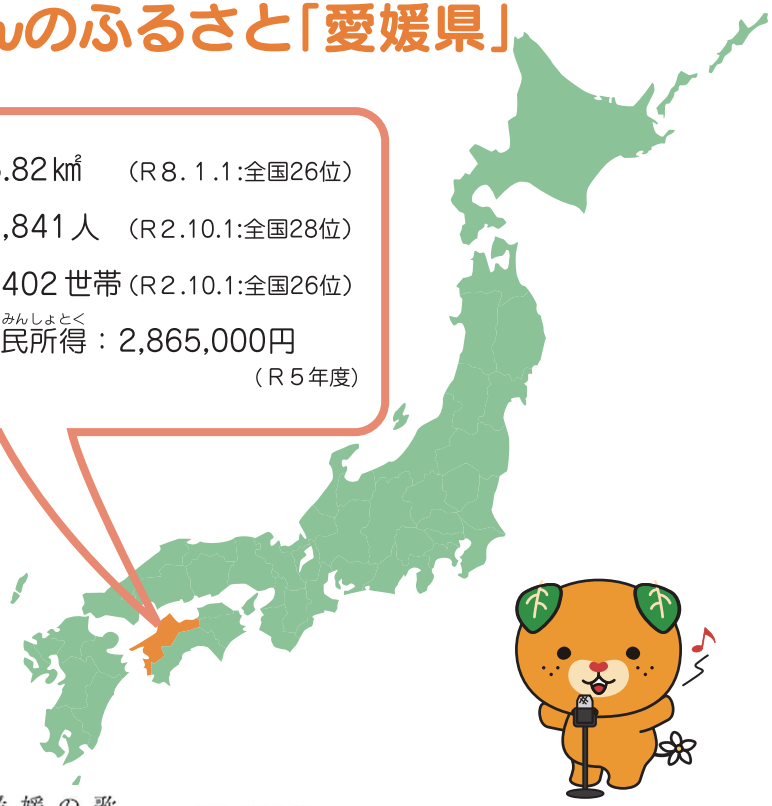
みなさんのふるさと「愛媛県」

面積：5,675.82㎢　（R８．１.１:全国26位）

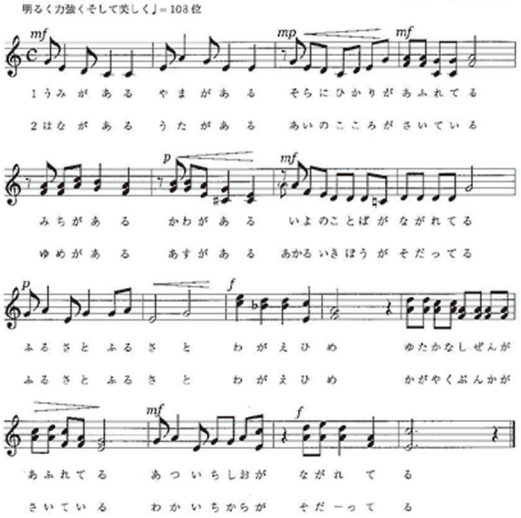
人口：1,334,841人　（R２.10.1:全国28位）

世帯数：601,402世帯（R２.10.1:全国26位）

1人当たり県民所得：2,865,000円
（Ｒ５年度）



愛媛の歌

作詞　岩本義孝
作曲　中田喜直

一　海がある　山がある
空にひかりがあふれてる
　道がある　川がある
　伊予のことばが流れてる
ふるさと　ふるさと　わが愛媛
ゆたかな自然が　あふれてる
　あつい血潮が　流れてる

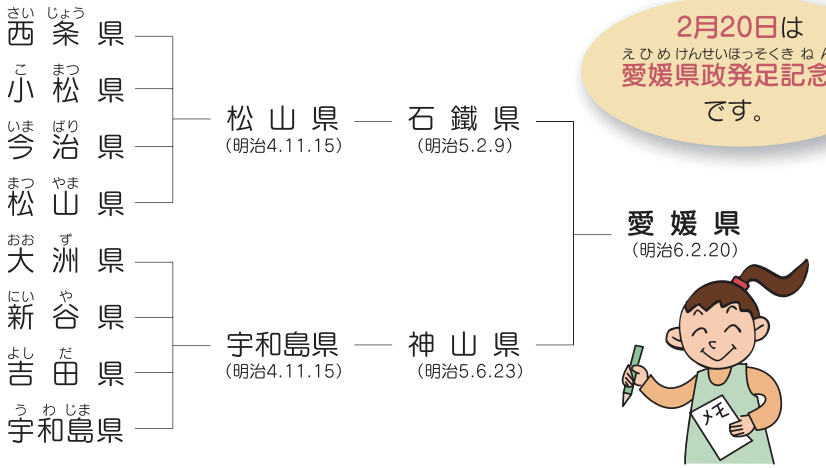
二　花がある　歌がある
愛の心が咲いている
　夢がある　あすがある
　明るい希望が育ってる
ふるさと　ふるさと　わが愛媛
かがやく文化が　咲いている
　若い力が　育ってる

① 愛媛県のおいたち

「愛媛」という県名は、国の成り立ちについて奈良時代に書かれた歴史書古事記の国生みの神話にでてくる「愛比売」にちなんでいます。

江戸時代の「伊予国」は、８つの藩と幕府直轄の天領に分かれており、8つの藩は「伊予八藩」と呼ばれていましたが、明治4(1871)年7月の廃藩置県で、「伊予八県」となりました。

その後、石鐵・神山の2県になり、さらに明治６(1873)年２月20日、両県が合併して「愛媛県」が誕生しました。



その後、明治９(1876)年から明治21(1888)年の間(※)は、香川県と合併して「愛媛県」と名乗りましたが、再び分離し、現在まで伊予国１国の区域で「愛媛県」となっています。

※明治9年8月21日　香川県と合併
　明治21年12月3日　香川県を分離

② 愛媛県のすがた（地形・風土・文化）

◆地形･風土

愛媛県は、四国の北西側に位置し、日本一細長い佐田岬半島を境に瀬戸内海と宇和海の２つの海に面しています。

瀬戸内海側は、海に面して道後平野（松山市など）や道前平野（新居浜市・西条市など）が広がり、宇和海側は、出入りの多いリアス海岸になっています。

瀬戸内海・宇和海には391の島々があり、海岸線の長さは、全国５位（約1,700km）、宇和海南部ではサンゴも見られます。

南側に接する高知県との境付近には、西日本で一番高い石鎚山（1,982m）をはじめとする四国山地がそびえており、海・山両方の自然に恵まれています。

気候はおだやかで、住みやすい地域といえます。

石鎚山

宇和海のサンゴ

◆文化

愛媛県は、大山祇神社（※1）をはじめ、松山城（※2）、道後温泉本館（※3）、内子町や西予市・宇和島市の古い町並みなど、多くの文化財に恵まれ、また正岡子規をはじめとする多くの俳人が育った「俳句王国」としても知られるなど歴史と伝統ある文化が残されています。「西条まつり」「新居浜太鼓祭り」「宇和島牛鬼まつり」など、特徴のあるまつりもたくさんあります。

※1 国宝や重要文化財の指定を受けた武具・甲冑などを多数収蔵・展示
※2「日本三大平山城」の一つで重要文化財
※3 重要文化財で、ミシュランガイドで三つ星を得た

◎愛媛県の位置

道後温泉本館

2 愛媛県のすがた（その2）

◆特産品

愛媛県の中晩柑類の生産量は50年連続で日本一です。また、いよかんなど、生産量が日本一のかんきつが22品目もあります。他にも、はだか麦が生産量日本一で、紅コレクション（紅まどんな、紅かんぺい（甘平）、紅プリンセス）、愛媛あかね和牛、媛スマ（養殖スマ）、ひめの凛（お米）など、愛媛県でしか生産していないオンリーワン産品も多くあります。

宇和海では養殖業が盛んで、マダイや真珠の生産量もトップクラスです。工業の盛んな東予地域では、今治のタオルや四国中央市の水引細工が有名です。県土の71%は森林で、全国有数の林産県であり、南予の肱川地域は、クヌギ林が多く原木しいたけの栽培が盛んです。

紅コレクション

愛媛あかね和牛

媛スマ

ひめの凛

◆ふるさと「愛媛」の世界一・日本一

愛媛県は、特産物以外にもたくさんの世界一や日本一があります。

瀬戸内しまなみ海道の最も四国側に架かる来島海峡大橋は、世界初の三連吊り橋です。また、広島県との境に架かる多々羅大橋は、日本で最も長い斜張橋です。

◎愛媛県の主な特産物

農林水産物			工業製品		
品　名	順位	生産量(t)	品　名	順位	金額(百万円)
かんきつ類 (R5)	1	199,616	タオル(ハンカチーフ除く) (R5)	1	31,526
中晩柑類 50年連続日本一！ (R5)	1	88,516	しょうじ紙・書道用紙 (R5)	1	2,773
キウイフルーツ (R6)	1	4,140	祝儀用品 (R5)	1	5,793
はだか麦 39年連続日本一！ (R7)	1	5,700	船体ブロック (R5)	1	12,024
くり (R6)	3	1,350	自動車用電球 (R5)	ー	3,944
養殖マダイ 35年連続日本一！ (R6)	1	39,114	新聞巻取紙 (R5)	ー	47,812
真珠 (R6)	2	4.1	食卓塩 (R5)	ー	3,134
ひのき (R7)	4	221,000㎥	新造貨物船(鋼製20t以上) (R5)	ー	253,568

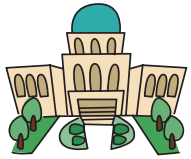
◎世界一・日本一に輝く「ふるさと愛媛」

愛媛の輝き			どこにある？
世界初の三連吊り橋	来島海峡大橋	全長4,105m、平成11年完成	今治市
日本最古の温泉	道後温泉	古事記にも記された約3000年の歴史	松山市
日本最古の現役道路可動橋	長浜大橋	肱川河口に架かる、昭和10年完成	大洲市
日本最大の瓦	菊間かわら館前の大瓦	約2m四方、重さは1t以上	今治市
日本最大の石造り鳥居	和霊神社の鳥居	高さが13mを超える	宇和島市
日本最長の斜張橋	多々羅大橋	全長1,480m、平成11年完成	今治市～広島県
日本最長の一般道路の無料トンネル	寒風山トンネル	国道194号、全長5,432m	西条市～高知県
日本最長の細長い半島	佐田岬半島	全長約40km、最小幅は約800m	八幡浜市～伊方町
日本最小の在来馬	野間馬	体高約110cm、上野動物園にも寄贈	今治市
日本唯一のプロアマ相撲	乙亥大相撲	170年以上の歴史。毎年11月開催	西予市

③ 県の仕事としくみ

県はひとつの市町ではできない大きな仕事や広い地域にまたがる仕事をしています。

また、国や市町と協力して県全体が発展するように仕事を進めています。



知事

副知事

防災安全統括部長

地震等の災害に備えて県庁の各部局で行っている防災対策の調整などの仕事をします。

公営企業管理者

公営企業管理局

みなさんの健康を守る県立病院の運営や、水力発電による電気、工業用水の供給などの仕事をします。

デジタル変革担当部長

デジタル化を推進する仕事をします。

人口減少対策統括部長

人口減少対策を推進する仕事をします。

愛のくにえひめ営業本部

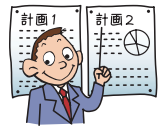
特産物やものづくりの技術など、愛媛のすばらしさを宣伝する仕事をします。

総務部

県の予算や税金、財産の管理、市町への助言や私立学校の手助け、県の仕事の見直しやチェックなどの仕事をします。

企画振興部

県の将来計画の作成、交通政策や地域の振興、男女が共に社会に参加しやすい環境づくり、外国人が働き暮らしやすい社会づくり、人口・産業の統計、広報広聴やプロモーション活動、デジタル化を推進する仕事をします。



観光スポーツ文化部

スポーツや文化・芸術、観光などを盛んにすることで、地域を元気にする仕事をします。

県民環境部

防災対策・交通安全の仕事やボランティア活動などの県民活動を盛んにする仕事のほか、安全で快適な生活環境を整備し、自然や環境を守る仕事をします。

保健福祉部

みなさんが健康に暮らせるよう、病気の予防や病院の指導などの仕事、子育て家庭への支援、生活に困っている人、体の不自由な人などのお世話や、そのための施設に関する仕事をします。

経済労働部

働く人の暮らしを守る仕事や、商業・工業・貿易を盛んにする仕事をします。

農林水産部

農業、林業、畜産業、水産業を盛んにするため、技術の指導や研究を進める仕事や、農道、林道、漁港をつくる仕事をします。

土木部

みなさんが快適で安心して暮らせるよう、道路、川、ダム、海岸、港、公園、住宅などを整備する仕事をします。

会計管理者（出納局）

県の仕事に必要なお金や物品が正しく使われるよう、その受入れや支払などの仕事をします。

行政委員会の仕事

公正な立場で判断しなければいけない仕事をするため、知事から独立しています。

教育委員会

学校や図書館などを管理運営する仕事や、文化財を守る仕事をします。

公安委員会

安全で明るい社会をつくるために、犯罪や交通事故を防ぐ、警察の仕事をします。

そのほか人事委員会、選挙管理委員会、監査委員、労働委員会などがあります。

4 県の予算

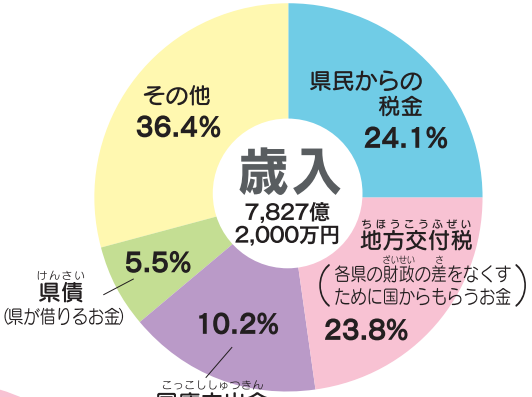
県の仕事を進めるためには多くのお金が必要になります。

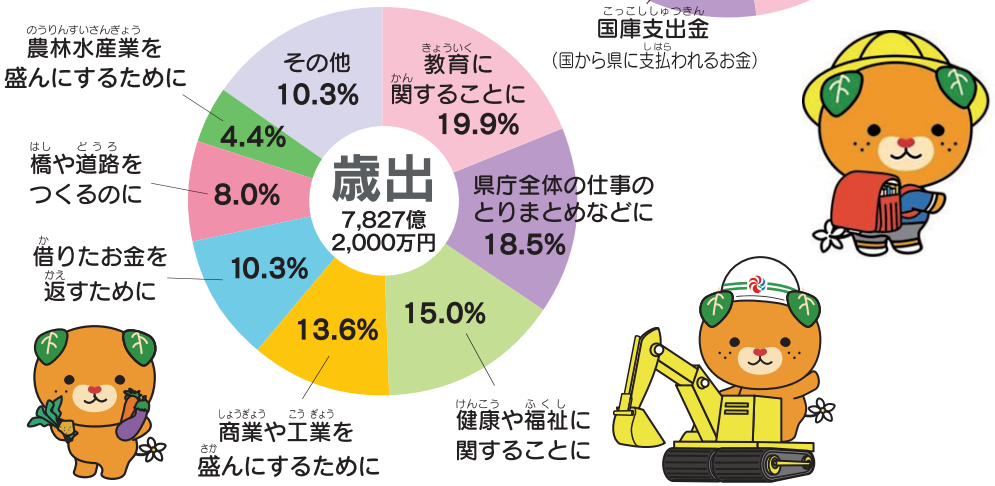
1年間に、どれだけのお金が入り、それをどう使うかを県議会で決めます。これを予算といいます。

お金が入ってくることを歳入といい、これはみんなのお父さんやお母さんが県におさめる税金などです。

また、そのお金はいろいろな仕事に使われます。それを歳出といいます。

令和8年度の当初予算は7,827億2,000万円です。(一般会計)

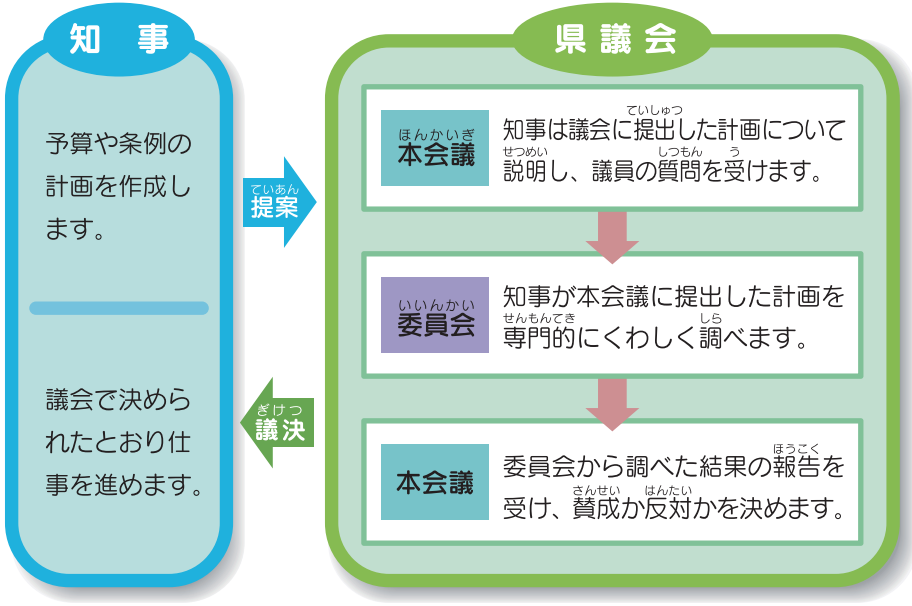




5 県議会のしくみ

県議会は、県民のみなさんから選挙で選ばれた県議会議員（定数47人）が、知事が計画した県の仕事、お金の使い方（予算）、仕事を進めるための決まり（条例）などを話し合って、県民のためになるように決めるところです。

定例会は、年に4回（2月・6月・9月・12月）ですが、必要なときには臨時会が開かれます。



6 県の取組み

県では、「愛のくに　愛顔（えがお）あふれる愛媛県」を目指しています。

何事にも前向きな姿勢で挑戦する勇気と強い気持ちには、どんなに苦しい時でも人を笑顔にする力があります。また、周りの人を思いやるやさしい気持ちは愛情を育みます。

愛顔とは、この二つの気持ちから生まれる愛のある笑顔です。

みなさん一人ひとりに愛顔があふれている愛媛県にするために、県では「人」、「経済」、「暮らし」の３つの分野で様々な取組みを進めています。

人

～次世代を育み、誰もが活躍できる愛媛県～

愛媛の魅力を高め、県外から移り住む人を増やします。年齢や性別にかかわりなく活躍することができる環境を整え、結婚から妊娠・出産までの切れ目のない支援を進め、人を惹きつける住み続けたい愛媛をつくります。

誰もが健康で豊かな生活を送ることができる地域づくりに取り組みます。また、子どもたちの成長を支える教育を進め、人口が減少するなかでも、地域の活力の維持に努めます。

子どもの愛顔応援ファンド
（子育て世帯支援事業）

移住ガイドブック
「えひめ暮らし」

経済

～“稼ぐ力”を高め、県民所得が向上した愛媛県～

県民の所得を増やすため、それぞれの産業で「地域の稼ぐ力」を強化します。また、国内外からの観光客を増やし、地域経済の活性化を図ります。

◀知事トップセールス

サイクリング
しまなみ▶

暮らし

～安全・安心で快適に暮らせる持続可能な愛媛県～

障がいのある人やお年寄り、支援を必要とする人たちが安心して暮らせる社会づくりを進めます。

地域の都市機能や地域交通を維持するための取組みを進めます。

南海トラフ地震やその他の自然災害など、様々なリスクに備え、対応を充実させます。

地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスを減らすほか、自然環境を守り、自然と調和した持続可能な社会づくりを目指します。

防災士養成講座

デカボえひめ

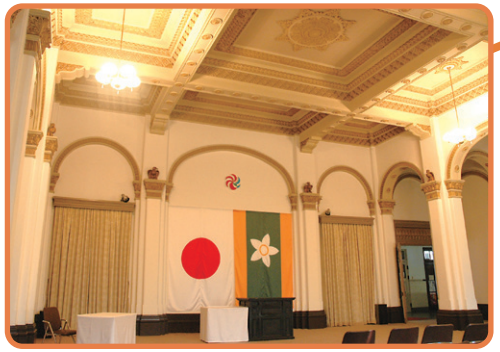
7 愛媛県庁本館

愛媛県庁本館は、知事が仕事をしている庁舎としては、全国で3番目に古い建物で、昭和4年に完成しました。

ドームを中心に左右対称で建てられており、空から見ると、鳥が翼を広げたような形になっています。

内部には、知事が仕事をする「知事室」をはじめ、天皇陛下など県の特別なお客様をお迎えする「貴賓室」、表彰などの式典を行う「正庁」などがあり、シャンデリアやステンドグラスなどの装飾が施されているほか、建設当時としては珍しいエレベーターや当時のままの電話ボックスなど見所がたくさんあります。

また、正面玄関を入ったところにあるロビーの床は、白と黒の大理石でできていて、よく見ると巻貝の化石がいくつも隠れています。



◆正庁（4階）

「正庁」とは、「正面の大広間」という意味で、現在で言えば講堂です。式典を行う部屋であり、柱の上には彫刻と鷲が取りつけられています。

◆貴賓室（3階）

2つある大理石でできた暖炉は、建設当時から電気式の暖房でした。（現在は使用されていません。）

◆電話ボックス（2階）

建設当時の様子を伝えています。

（中にはレトロな電話も設置しています。）

◆県庁本館のプロフィール

- ○建設開始：昭和2年11月11日
- ○完成：昭和4年2月9日
- ○愛媛県が誕生してから4代目の庁舎
- ○鉄筋コンクリート造　4階建て
- ○広さ（建築面積）：2,030㎡
- ○高さ：32.6m
- ○幅（東西の長さ）：約80m
- ○奥行（南北の長さ）：約43m
- ○建築にかかった金額：102万円
  ※今のお金に換算すると100～120億円
- ○設計者の「木子七郎」は、萬翠荘（旧松山藩主・久松定謨伯爵別邸）や石崎汽船本社（松山市三津）も設計
- ○国登録有形文化財に登録（令和3年2月26日）